

# 「研究大学強化促進事業」中間評価 進捗状況概要 東京工業大学

## 目的

長期目標： **2030年に世界のトップ10のリサーチユニバーシティへ**

＜研究力強化の方針＞ 「国際共同研究の促進」「国際的な研究環境整備」 に集中的に取り組む

あわせて、「強い分野をより強く」「次世代融合分野の育成」「基礎的・基盤的分野の充実」 に取り組む

## これまでの実績・進捗状況

### 【国際共同研究推進】

- 教員の海外派遣、海外研究者招へい  
→国際共著論文比率の向上(27.4%→30.8%)

### 【国際的な研究環境整備】

- 外国人研究者のための研究環境整備・支援  
→外国人教員比率の向上(4.3%→7.9%)
- 国際研究広報の強化  
→英文プレスリリース10倍増

### 【強い分野を伸ばす】

- WPI拠点「地球生命研究所」(ELSI), 元素戦略研究拠点, COI拠点を育成支援

### 【人事・人事制度改革】

- 年俸制, クロスアポイントメント制度を導入(H26.10)
- 大学全体の人事戦略策定を行う人事委員会を設置し, 教員ポストの全学管理を実現(H27.4)
- URAを増員(H25年度9名→H29.6.1現在28名)

### 【研究の質の向上】

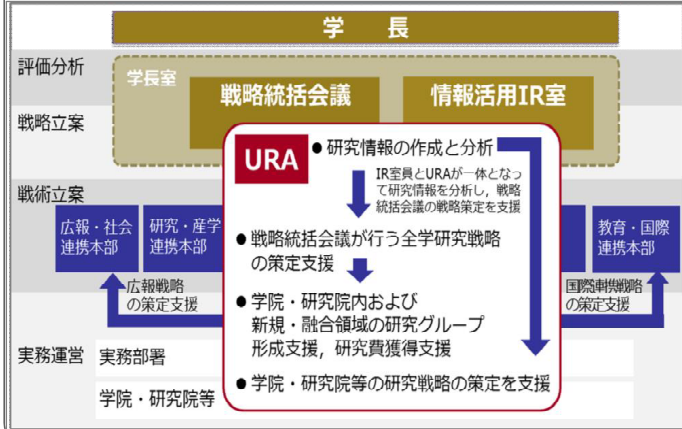
- TOP10%論文の割合(Q値)が低下傾向  
→研究改革・人事制度改革を実行, WRHIの設置(H28.4)

### 【研究組織改革】

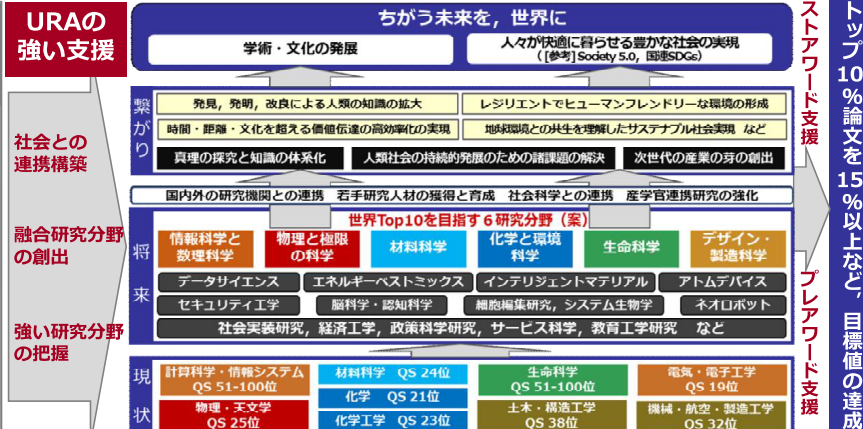
- 学部と大学院を統一した6つの学院を設置(H28.4)
- 4つの附置研等を統合改組, 科学技術創成研究院を設置, 研究ユニットを新設(H28.4)
- 学長主宰の戦略統括会議を設置し, その下に研究・産学連携本部を設置してURAを集約・強化(H29.4)

## 今後5年間の将来構想

### ●戦略統括会議、情報活用IR室とURAとの連携による総合的な研究力強化



### ●社会の期待からバックキャストして新研究分野を創成



## 中間評価結果

評点区分： Aー

### 全体に対する所見

大規模な理工系総合大学である強みを生かした様々な取組を行い、優れた成果を上げている。一方で、財務戦略の目標と方向性が明確でなく、目標を確実に達成するために、よりスピード感のある取組が期待される。

### 当初構想・計画の進捗状況に対する所見

ガバナンス改革を軸に、研究大学としての体制強化に取り組んでおり、方針に沿った様々なプログラムを展開することにより、指標からみても着実に成果を創出し、課題も適切に認識し、妥当な方策が立てられている。

### 今後5年間の将来構想に対する所見

URA に関する制度設計を、より具体的な戦略に基づいて進めることが必要であり、学内でのキャリアパスを拓く仕組みを早急に作る必要があると思われる。「URA 活動推進委員会」の成果に期待したい。

トップ10%論文を15%以上など、目標値の達成  
ポストアワード支援  
プレアワード支援